

広 報 費

小計 70,205 円

領 収 書 等 貼 付 用 紙

広報費	頁小計	60,000 円	備考	
-----	-----	----------	----	--

領収書

発行日：2024/6/1

町田市議会諸派 秋田しづか 様

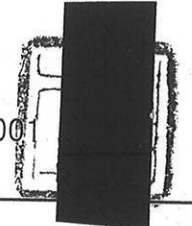
合計金額 (消費税込)	¥ 120,000
-------------	-----------

ホームページ管理費(秋田しづかの活動日誌)2024年4月~2025年3月

〒 227-0036

横浜市青葉区奈良町2824-1 A-100

MBIパートナーズ 山本 満



※ 領収書は重ねて貼付しない。
※ 領収書が枠からはみ出す場合は別紙に貼る。

2分01円計上

領 収 書 等 貼 付 用 紙

広報費	頁小計	10.205 円	備考
-----	-----	----------	----

2 代引金額領収書

2024年11月17日 集金代行者 佐川急便株式会社
 分替り 町田営業所
 TEL 0570010289

お問合せ送り状No.
5184-7691-6392

代引金額(税込)
¥20,410-

上記金額を領収いたしました。

2分の1を訂正

※本振票は資格請求書としてご利用いただけません。
 ※この商品代金の領収書はご依頼主の委託により発行するものと致します。
 ※商品及び代金の内容に関してはご依頼主にお問合せ下さい。
 ※領収内容を修正したものは無効となります。
 領収書発行者：Sシステム(株) 東京都江東区新砂1丁目8番2号
 集金代行者：佐川急便(株) 東京都南区上島羽角田町68番地

印紙税申告納
付につき下京
税務署承認済

<p>送り状</p> <p>〒194-0041 東京都町田市玉川学園 秋田しづか</p>	<p>発送日 : 24年11月14日 お問合せNo. : 5184-7691-6392 個数 : 3</p>	<p>80 サイズ</p> <p>100 サイズ</p> <p>140 サイズ</p>
<p>京都府向日市森本町野田3-1 株式会社プリントバック 株式会社プリントバック TEL 0120-977-920</p>	<p>【印刷物】 市政報告2024冬 10000部×1 【土日祝】 祝を含め何曜日でも受取可</p>	<p>佐川急便問合 TEL 04-7132-0115</p>

<p>送り状 兼代引金額領収書</p> <p>〒194-0041 東京都町田市玉川学園 秋田しづか</p>	<p>発送日 : 24年11月14日 お問合せNo. : 5184-7691-6392 個数 : 3</p>	<p>消費税率等 ¥1,865 代引金額(消費税込) ¥20,410</p>
<p>京都府向日市森本町野田3-1 株式会社プリントバック 株式会社プリントバック TEL 0120-977-920</p>	<p>【印刷物】 市政報告2024冬 10000部×1 【土日祝】 祝を含め何曜日でも受取可</p>	<p>佐川急便問合 TEL 04-7132-0115</p>

<p>到着原票</p> <p>〒194-0041 東京都町田市玉川学園 秋田しづか</p>	<p>問合 TEL 04-7132-0115 発送日 : 24年11月14日 個数 3</p>	<p>消費税率等 ¥1,865 代引金額(消費税込) ¥20,410</p>
<p>この伝票は複数個口用です。 [2 / 3]</p>	<p>陸便</p> <p>佐川急便</p>	<p>佐川急便問合 TEL 04-7132-0115</p>

町田を もっと うれしいまちへ

無所属
町田市議会議員

秋田しづか



お手にとっていただきありがとうございます

皆さまのアイデアをお寄せください。

町田市は今後、少子高齢化でたくさんの難しい課題に直面します。そのとき市民と行政が信頼し合える関係であることが、難しい課題を乗り越えるための大きな力になると思います。そのような観点から、私は市民・民間企業・行政の距離がより近いまちになるように活動しています。

町田市はたくさんの可能性を秘めています。市民と行政の関係性を築く機会をつくり、市民のアイデアを活かす仕組みがあれば、町田市はもっとうれしく楽しいまちになると思うのです。町田市がよりよい町になるように皆さまのアイデアをお寄せください。

いっしょに芽吹かせませんか？



視察に伺いました

N中等部町田キャンパスへ

町田市中町にあるフリースクール「N中等部町田キャンパス」へ超党派の有志の議員で視察に伺いました。子どもたちが元々持っている力を引き出すカリキュラムに感動しました。また、メンターと呼ばれる大人と毎回振り返りの時間があり、対話の中で子どもたちが自分の気持ちを確認します。公教育もアップデートが必要です。

プロフィール

1980年生まれ 愛知県出身
4児のひとり親
早稲田大学第一文学部卒業
前職は(株)玉川総合研究所代表



前職では自ら、事務代行の会社を設立いたしました。子育て中の方やひきこもりの若者が、自分にちょうどよいバランスで働ける会社です。地域の活動ではPTA会長としてPTA改革を行い、また、子ども食堂・冒険遊び場を立ち上げました。村度せず自由に意見を言える議員が必要だと思い、2022年2月の町田市議会議員選挙に無所属で初出馬。ママ友や地域の方々に支えていただき、定数36名中16位、新人の中ではトップの得票で議会に送り出させていただきました。人と人がつながるまち、心と心につながるまち、心が通った優しいまちになるように、市民と行政の距離を縮め、市民目線の政治を進めていくことを目指しています。

人と人がつながるまち、心と心につながるまちに!

秋田しづかの活動日誌

<https://akitashizuka.com/>



お役立ち情報

受験生チャレンジ支援貸付事業

2022年度から所得基準が変更になり、支援対象の範囲が拡大しました。高校や大学等に入学した場合は基本的に返済が免除となります。

<https://machida-shakyo.or.jp/challenge>



市民・民間企業・行政による共創のまちづくり



Q.地域・企業・行政等が地域の課題解決に向けて話し合う場、「THE YORIAI」がありますが、「まちだ〇ごと大作戦」のように、「THE YORIAI」で生まれたプロジェクトにも市の予算をつけてはどうでしょうか？



A.市内全10地区の地区協議会に補助金を交付しており、実現できているものと認識しております。

厚木市では、市民団体と市が地域課題を解決するために共に事業を実施する「市民共同事業提案制度」があります。地域ごとのみならず、全市的な取り組みにも適用できる補助を提案いたしました。



Q.共創の具現化は、前例踏襲の組織では実現いたしません。例えば、市民や事業者が関わるネットワークを作ったり、ゼロからイチを生み出すリーダーシップが必要だと思いますが、新たな価値を創造する職員を増やすために行っていることはありますか？



A.市民との協働・共創について学ぶ研修を実施しており、また、「THE YORIAI」に市の職員も多様な主体の一人として参加することも、協働・共創の意識を高めるものと考えております。

市民の声をどのように受け止めて、どのように政策にしていくのか、それは担当者次第ではなくて仕組み化することや、評価される場が必要なことを提案いたしました。

教員を支える人的支援



Q.担任が休んでも授業が進められるようにチーム担任制を導入してはどうでしょうか？



A.市内の小学校や他の自治体でも行っている学校があり、実施状況を踏まえ検討していきます。



Q.八王子市で実施している、包括的な支援を学んだ有償ボランティアの市民が見守りに入る仕組みなどを検討してはどうでしょうか？



A.他の自治体の情報を収集し研究してまいります。

高齢者の社会参加



Q.TOKYO長寿ふれあい食堂推進事業を活用してはどうでしょうか？



A.他市の状況、効果等も注視していきます。

ゼロカーボンシティまちだ



Q.市民団体と連携すれば脱炭素のネットワークが構築できると考えますがどうでしょうか？



A.市民、事業者、市民団体の皆様がネットワークを構築していくことを支援することは課題として捉えております。ネットワーク構築の研究をして参ります。



Q.脱炭素化の活動をする市民団体が市役所の縦割りで苦勞しています。縦割りの問題をどのように打破するのでしょうか？



A.環境だけではなく様々なテーマで地域の課題、取り組みを推進していくことが必要だと考えています。

ひとり親支援



Q.町田市社会福祉協議会のフードバンクは個人へ配布できません。板橋区には「街かどフードパントリー」という公共の冷蔵庫のような取り組みがありますが町田市でも実施してはどうでしょうか？



A.町田市において実施の予定はございません。



Q.中野区では2024年6月から離婚時の転居費用の補助制度が始まりました。ひとり親家庭や離婚協議中の実質ひとり親に対し、町田市でも実施してはどうでしょうか？



A.他地域の今後の実施状況や効果を注視してまいります。

